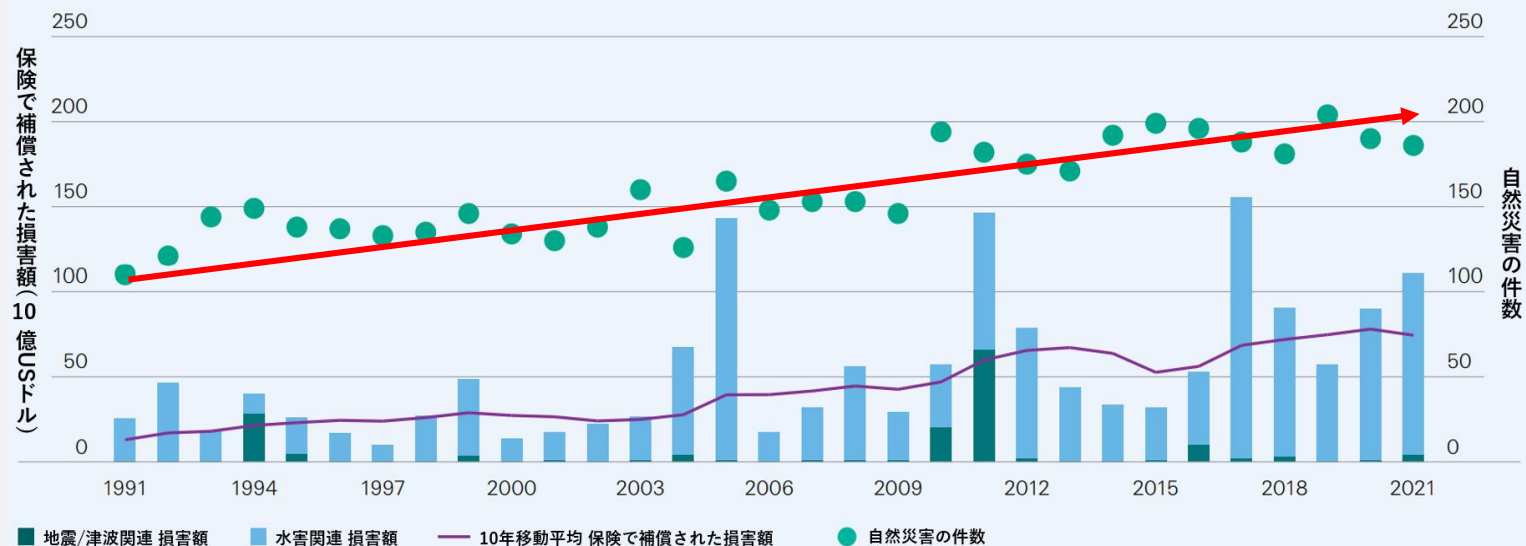


近年の自然災害激甚化/頻発化を受け、従前からの「緩和=“温暖化の原因抑制”」に加え「適応=“温暖化の被害抑制”」の両方へのニーズ/要望が強まっている。



(出典：Swiss Re Institute “Sigma”より一部スペクティ翻訳)

【グラフ：自然災害の件数及び保険で補償された損害額】

自然災害「件数」「損害額」  
共に増加傾向

気候変動の影響が  
いよいよ顕在化

### 緩和

- ・省エネ
- ・再エネ拡大
- ・CO<sub>2</sub>の吸収拡大(森林保全)
- ・CO<sub>2</sub>の回収/貯蓄

+

### 適応

- ・災害対策(防災/減災)
- ・感染症対策
- ・農作物の高温障害
- ・生態系の保全
- ・熱中症予防